

# 友愛

Y U A I

115

平成30年8月1日発行



特集 リハビリの体制を強化しました  
特集 職員の成長と支援の質の向上を  
図っています

- ふれあい通信
- スタッフエッセイ



社会福祉法人 北海道友愛福祉会

## リハビリメニューの紹介



### バランス練習

バランスボールで、立つ、座るの訓練



### 歩行練習

平行棒による歩行訓練で筋肉の維持・増強をし寝たきりを防止



### パワーリハビリ

トレーニングマシンを使い、胸や肩の筋肉を鍛えるパワーリハビリ



### 階段昇降練習

段差のある場所を歩行し、身体機能の維持・向上を促す



# リハビリの体制を強化しました

今春より、介護保険制度の改定にともない、友愛ナーシングホームでのリハビリを強化しました。リハビリ担当者を4人から6人に増員するとともに、入居者の方全員を対象にしました。

## ケアハウスでの自立生活も可能に

「友愛ナーシングホームに併設しているケアハウスゆうあいには、自立した生活に不安があつて、ご家族の援助を受けることが困難な方の施設です。今後、両施設の連携がますます重要です」  
ケアハウス施設長の久田康由喜さんは、そう語ります。ケアハウスゆうあいと友愛ナーシングホームの2つの施設は、有機的に連携しており、緊急時の対応も万全です。また、2018年6月から、電動ベッドや引き出しの軽いタンスなど、生活しやすい家具を備え付けた部屋を整備し、受け入れ準備に万全を期しています。



ケアハウス施設長  
久田 康由喜さん



作業療法士の石田舞さんは、「日によっても、また時間帯によっても、症状や体調、心理的な変化があるので、それを常に確認して、リハビリをすることが大事です」と言います。2人が口をそろえて言うのは、「信頼関係を築くと、回復も早い」ということ。そのために、「基本はほめる。できなくても、がんばったねとほめる。リハビリを



作業療法士  
石田 舞さん

担当するのは理学療法士、作業療法士ともに3人、計6人のスタッフです。リハビリは基本的にマンツーマンで行い、一人ひとりのニーズに応じて、プログラムが立てられ、計画的に進められています。主な目的は在宅復帰に向けた準備・状況を把握し、それをふまえて行います。同時にそれぞれの方

## 一人ひとりの状況に合わせてマンツーマンでリハビリ

2018年4月から、介護保険制度の改定に沿う形で、友愛ナーシングホームの機能回復訓練がパワーアップしました。これまでは集団でのリハビリが中心でしたが、今春から基本的に入居者全員がリハビリに参加しています。その結果、通所の方も含めると、1日平均50〜60人のリハビリを行っています。

実践しています。また、これまで以上に多くの方がリハビリに参加することになった結果、入居者同士のコミュニケーションも増え、それが心理的な活性化につながってリハビリの効果を高めることにもつながっています。



理学療法士  
菅 靖司さん

の基本動作がどの程度のレベルなのか、状況に応じたきめ細かなリハビリを実践しています。代表的なものは、車イスの方の歩行訓練や短期集中リハビリ、そして個別のニーズに合わせたリハビリです。このほかに、認知症の方に対するリハビリもあります。

## 潜在能力をどう引き出すかコミュニケーションが大事

担当者の一人、理学療法士の菅靖司さんは、「パフォーマンスが低下しているように見えても、潜在能力は残っている場合が多いので、それをどう引き出すが、リハビリのポイントです」と言います。そのため、とにかく動いてもらう。動けない場合は、そのきっかけをつくる。また、認知機能を上げるための工夫が大切だと語ります。

# ふれあい通信

北海道友愛福祉会とご利用者の皆さんの  
日々のふれあいを、あふれる笑顔の  
写真と一緒にご紹介します。

## 愛保育園

### 初めての陶芸体験!!

初めての陶芸に、ワクワクの子どもたち。先生のお話を真剣に聞いて、貯金箱・コップ・お皿・小物入れの中から1つ選び作りました!ハートや星・お花の飾りをつけたり、猫など動物の形に作ったりととっても上手に出来上がり、「見て見て!」とお友だちと見せ合っていましたよ。先生から褒めてもらいニコニコの子どもたちでした♪最後は、お手本を見せてもらい次々と作る先生に「すごい!」「マジックだ!」と大興奮!!とっても楽しい陶芸体験でした♪



### 心をこめて!! きれいになあ〜れ!

## ケアハウス ゆうあい



ケアハウスに花の苗を込みが終了。とても暑い日でしたが、無事に植えし、ご利用者の皆さんや地域の皆さんにも楽しんでいただければと思います。また、畑にもジャガイモと枝豆を植えていますので、秋にたくさん収穫できることを、ご利用者の皆さんから楽しみにしています。季節ごとにたくさんの花がすので、ぜひ一度お越しください。

## 友愛 ナーシングホーム

### ご当地の魅力をおすすめ!



管理栄養士考案の「ご当地メニューの日」静岡県さんま蒲焼丼、美咲市とり飯、横浜市発祥のナポリタン、根室市エスカロップ、沖縄ソーキソバなど、ご利用者の皆さんは居ながらにして全国各地を食べ歩き。北は北海道から南は沖縄まで、珍しいメニューにご利用者の皆さん興味津々。管理栄養士、厨房調理員から愛情たっぷりをお届けしています!誕生会などの行事食、祝日メニュー、セレクトメニューに加えて、ご当地メニューと毎月さまざまな食事を楽しんでいただいています♪  
“食べることの大切さ・楽しさ”がご利用者の皆さんの元気の源になりますように!おいしかったよ〜!とたくさんの声と笑顔を送っています。

“ご利用者の皆さんとの食の旅”は続きます♪

## グループホーム ゆうあい

### 「認知症カフェへようこそ!!」



グループホームゆうあいの地域交流ホームで、毎月第1金曜日の午後2時から3時30分まで認知症カフェを開催しています。ボランティアさんと恵明園スタッフが中心となって運営し、認知症の方やご家族、地域住民、介護や福祉の専門職などさまざまな人たちが気軽に集うのが特徴です。認知症の方やご家族の悩みを共有しながら専門職に相談できる場所となっています。飲み物1杯100円で、予約なしでもどなたでも参加できますので、お待ちしております!

## 静苑ホーム

### 「働きたい」「お願いしたい」の マッチング



【くらしサポートセンターえべつ】とタッグを組み、社会復帰や就労を希望している方々への支援の第一歩として、静苑ホームでの介護業務の中から、十数台ある車椅子の清掃と空気入れをお願いしました。翌日には綺麗になった車椅子を使用し、快適に外出をすることができました。職員やご利用者からは「気持ちが良いね!」と喜びの声や笑顔が見られました。

くらしサポートセンターえべつとは  
働きたい思いがあっても生活上のさまざまな理由から仕事に就けず悩んでいる方々の相談窓口。  
江別市社会福祉協議会が役割を担っています。



第9回友愛学会 最優秀賞を発表

# 職員の成長と支援の質の向上を図っています

4月13日、「えぼあホール」で第9回友愛学会～症例研究発表～が行われました。優秀賞には野幌第一地域包括支援センターの「地域ケア会議を通して見えたもの」が選ばれました。



## 友愛学会を通じて得られる新たな気づき

友愛学会は平成22年、職員症例研究の発表の場として設立されました。5施設からの職員それぞれの考察、工夫、研究を発表しようというものです。発表の中身を多くの職員が共有し、今後の利用者支援のレベルアップにつなげ、成果を利用者に還元することが、大きな目的です。

研究と発表を通じて、職員がより深く考え、今までは難しいと感じられていた課題にチャレンジするきっかけにもなっています。過去には「食物アレルギー」や「障がい児支援」などもテーマとなり、それぞれ成果を上げています。

また、発表そのものがプレゼンテーションや伝達のよい訓練となり、職員自身の成長の機会にもなっています。今年度の優秀賞には「地域ケア会議を通して見えたもの」が選ばれました。また「みんな人生の主人公」も高い評価を得ました。



**症例研究発表の内容**

- 友愛ナーシングホーム  
みんながってみんないい  
～個性の大切さ～
- 静苑ホーム  
地域の芽を育もう  
～福祉教育の実践について～
- 野幌第一地域包括支援センター  
地域ケア会議を通して見えたもの
- 愛保育園  
子供と向き合う保育  
～一人一人の個性を見つめて～
- 恵明園  
みんな人生の主人公～自分史を作ろう～

## 認知症でも地域で暮らせる仕組みづくりを

優秀賞に輝いた研究「地域ケア会議を通して見えたもの」は、「増え続ける高齢者の相談には、何かしらの傾向があるのではないか」という素朴な疑問から出発しました。過去に開かれた地域ケア会議51事例を分析して見えてきたのは、「ひとりの困りごとから地域がつくられる」ということ。特にアルツハイマー病の男性や認知症の女性のケースから、「高齢者住宅入居」や「チームで見守る体制」が実現したことがわかりました。

地域ケア会議を通じて、課題の整理と解決への優先順位、役割分担ができ、支援に対する動きが明確になっていきました。また、スーパリーの店員やタクシー会社などの民間業者へ、更なる認知症への理解や支え合いにつながっていたのです。

しかし、その一方で、「生活のしづらさや社会資源の不足」「人材・支え手の不足」といった課題も見えてきました。そのため、「認知症であっても、住みなれた地域で暮らすことができる仕組みづくりが必要」であるとの結論が導かれました。



第9回 友愛学会  
恵明園

# みんな人生の主人公 自分史を作ろう

## 自分史作りを通じて かかわり方が変わりました

橋本イサ子さんが恵明園に入居したのは、平成29年3月のこと。妹の老川友子さんは「寂しがり屋で、入居当初は大変でした」と言います。新しい環境にすぐには馴染めなかつたイサ子さんですが、以前から「自分史を書きたい。若い人に伝えたい」という思いがあつたようでした。

その気持ちをくみ取って、相談員の山本亜美さんが聞き役に。年齢差が60歳以上あり、「お話の中にわからないことがたくさんあり、インターネットでかなり調べました」と言いますが、話を聞く回数が増えるにつれ、イサ子さんは山本さんに心を開き、中途失明によるご自身の悲劇も語られました。

それを文章にし、『涙の果てに凛と咲く』橋本イサ子物語



相談員 山本 亜美さん

「自分史はその人の内面を知る機会となり、職員のかかわり方も変わりました」と言います。

イサ子さんは「聞いてもらったことで、気分が楽になりました。点字で読み、改めて自分にこんな悲劇があつたのだと感じます」と言います。石岡さんは「自分史を作つて終わりではなく、イサ子さんの思い出の地巡りなど、今後の日常活動に生かしたい」と、新しい取り組みを始めています。



相談支援係長 石岡 浩司さん



▲橋本 イサ子さんと妹の友子さん

# スタッフ エッセイ

子どもが保育園に入園してから行事等でお弁当を作ることがあり、楽しく食べてもらおうと“キャラ弁”に挑戦しました。作るのに時間も掛かりますが、喜んでくれる

と作り甲斐を感じま

す!現在、小学生になりましたがお弁当の時にはリクエストしてくれるので、これからも子ども達が喜んでくれる限り、頑張って作りたいと思います。



デイサービスセンター友愛江別 大原 三佳

私は中学校の3年間、バドミントン部に所属していました。先生がとっても厳しくてトレーニングがとっても大変だったことをよく覚えています(笑)そのため家に帰ってから練習をしていました!!部活を辞めてからも気分転換で体育館に行きバドミントンをしています。



愛保育園 杉中 加奈

3年前に静苑ホームに卓球台が届いてから2人で卓球にはまっています。はじめは道具も施設にあるものを使い、2人の都合があった時に活動していましたが、今では毎週水曜に時間を決めて、靴やラケットも使いやすいものを持参しています。地域の子どもたちやご利用者と卓球を通して交流を行う機会も増えました♡これからも卓球を続けて体力を維持し、元気に働いていきます!皆さんも一緒に汗を流しましょう♪



ヘルパーステーション友愛野幌  
岡田 たえ子  
宮越 操

2年前からスキーを始めました!学生時代は毎日のように滑っていたのですが、不安を覚えつつも再開してみると昔の感覚を思い出し、スキーの楽しさを再確認しました。もう一つの趣味はビーズアクセサリー作りで、母の日に手作りの物を贈りたいと思ったのがきっかけでした。プレゼントした時、母は驚いていましたが、喜んでくれました♪細かい作業が多くて大変ですが、完成した時は達成感と喜びを感じます!



友愛ナーシングホーム 都築 雪恵

私は花が大好きで、プリザーブドフラワーを習っていたのですが、昨年母と同居し仕事も始めて時間が取れなくなり辞めてしまいました。しかし、癒やしと穏やかな気持ちをくれる花への思いが諦めきれず、友人が今年3月から「ろう花」の講師を始めたのをきっかけに、時間ができた時に頼んで習いに行っています。和紙を染め花形に創作し、特殊なろうで浸すと、色鮮やかな素敵なろう花に仕上がります。何も考えずに一心に好きなことに打ち込めるこの時間は、私にとってとても貴重なひと時です。



野幌第一地域包括支援センター 近藤 とも子

今年の4月よりケアハウスに勤務しています。休みの日に長く続けられる趣味があればと思い、家庭菜園と園芸を始めました。はじめは失敗も多かったのですが、今では毎年必ず新しい品種や作物に挑戦しながら楽しく続けています。本やブログの記事を参考にすることもあります。師匠は何といってもご利用者や近所の方々です。これからもアドバイスをいただきながら楽しく長く続けていきたいです。



ケアハウスゆうあい 森下 敏紀

## 社会福祉法人 北海道友愛福祉会 <http://www.yuaifukushi.jp>

介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム  
短期入所生活介護  
**静苑ホーム**

〒069-0806 江別市新栄台46番地の10  
TEL (011) 389-4165 FAX (011) 389-4166

**友愛野幌**

TEL (011) 391-3540 FAX (011) 389-4170  
●通所介護 ●訪問介護  
●居宅介護支援・在宅介護支援センター  
●福祉移送サービス

児童福祉施設  
**愛保育園**

〒069-0812 江別市幸町8番地の9  
TEL (011) 384-0330 FAX (011) 382-6587

江別盲人養護老人ホーム・短期入所生活介護  
ヘルパーステーション  
**恵明園**

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8  
TEL (011) 383-3351 FAX (011) 383-3598

**友愛江別**

TEL (011) 383-3362 FAX (011) 383-3598  
●通所介護  
●居宅介護支援・在宅介護支援センター

認知症対応型共同生活介護  
**グループホームゆうあい**

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8  
TEL (011) 383-3378 FAX (011) 383-3356

軽費老人ホーム

**ケアハウスゆうあい**

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12  
TEL (011) 382-1123 FAX (011) 382-1022

介護老人保健施設・短期入所療養介護  
通所リハビリテーション・居宅介護支援  
**友愛ナーシングホーム**

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12  
TEL (011) 382-1110 FAX (011) 382-1022

江別市受託事業

**野幌第一地域包括支援センター**

〒069-0801 江別市中央町31番地の6  
TEL (011) 381-2940 FAX (011) 381-2941  
●介護予防支援